



MG
MASTER GRADE

機動戦士ガンダム
ギレンの野望
ジオン独立戦争記

BANDAI





MOBILE SUIT
RX-78/CA

GUNDAM

NEO ZEON CASTLE
CUSTOMIZE MOBILE SUIT



ネオ・ジオン軍
白兵戦用モビルスーツ
RX-78/CA「キャスバル専用ガンダム」
1/100スケール
マスターグレードモデル(Ver. 1.5)

BANDAI 2002 MADE IN JAPAN

Scanned by Dalong.net

0113554





RX-78/C.A GUNDAM

時、宇宙世纪0080年。戦争は終ってはいなかった。

「ジオン独立戦争」は宇宙殖民都市サイド3がジオン公国を名乗り、地球連邦政府に対して独立を宣言することで戦端が開かれた。ひと月ほど続いた戦闘により、開戦前には110億を数えた総人口の約半数が死に至り、地球連邦政府は降伏寸前まで追い込まれた。しかし、一旦は捕虜となりながら「奇跡の生還」を果たした連邦軍のリーベル将軍による「ジオンに兵なし」とする提言により徹底攻撃へと方針が転換された。その後、早期決着を断念した公国軍は地球降下作戦を展開し地球全土のおよそ2/3を割り込むが、それ以降は両軍共に各地で一進一退の攻防を繰り広げるばかりであった。いつ果てるとも知れない消耗戦と消耗戦に、市民の間には厭戦思想が蔓延し、現状を打開する解決策が見いだせないまま戦争状況のみが継続していた。遂には開戦以来、一年が経過しようとしていた。数ヶ月に及ぶ膠着期間を経て、MSの開発に成功した連邦軍は、圧倒的な戦略的不利を覆し、反攻に転じた。MS開発の後れを、圧倒的な物量によって補うことが可能だった連邦軍は、地上あるいは宇宙空間において、ジオン公国軍と數度に渡る大規模な攻防戦を繰り広げた。その裏面では熾烈な諜報戦も展開されており、MS等をはじめとする機動兵器関連の技術

や情報においても、双方が保有する、いわゆる「通常技術」はほぼ同レベルに達していた。戦略戦術的にはいつ決着がついてもおかしくない規模の戦局を迎えるながら、両軍はなぜか「決定的な状況」に陥る事はなかったのである。

その様な状況下で、突如、第三勢力が出現した。公国軍の「赤い彗星」として知られるエースパイロットのシャア・アズナブルが、公国紳士のギレン・サビに反旗を翻し、白らジオンの建国者であるジオン・ズム・ダイクンの嫡子であることを明かし、ネオ・ジオン紳士として蜂起したのである。この動きは連邦、公国双方に波及し、どちらにも与しない勢力が彼の下に数多く参集した。キャスバル専用ガンダムは、連邦軍がRXモビルスーツに投入したノウハウを公国系技術者が解析し、独自のアップデートを施したMSである。基本設計はほぼ踏襲されているものの、性能は原機であるガンダムをはるかに凌駕する。特にジオン独自の技術であるNT(ニュータイプ)対応デバイスが採用され、反応速度等もMC(マグネットコーティング)処理されたガンダムを上回るとされている。ガンダムは連邦製MSのリファレンスとして開発されたが、キャスバル専用ガンダムは、更に公国が保有していたMS関連技術を積極的に融合させることでその特徴における史上最强のMSとして誕生した。外見こそ四つだが、本来、連邦系と公国系の保有技術は、アクチュエーターひとつとってもコンセプトが全く異質のものであり、技術の融合にはもう少し時間がかかるはずなのだが、まるで時計の針を進めたかのようにこの機体は存在している。そのスペックは時代的に異常であると言っても過言ではない。まさに、狂獣的な发展を遂げたMSテクノロジーが生み出した鬼子とも呼べる機体なのである。ちなみに、誕生日は連邦の技術者に敬意を表し、制式番号はRX-78のままとしている。



本書解説は、ゲームソフト「ギレンの野望 -ジオン独立戦争記-」に基づいたものであり、アニメーション「機動戦士ガンダム」の内容とは異なる箇所があります。

Part List

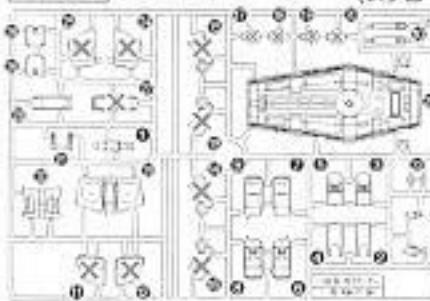
A1/バーツ (スチロール樹脂: PS)



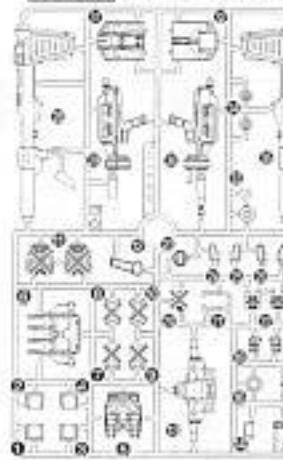
A2/バーツ (スチロール樹脂: PS)



B1/バーツ (スチロール樹脂: PS) (スチロール樹脂: PS)



C/バーツ (スチロール樹脂: PS)



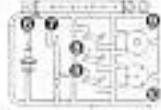
D/バーツ (スチロール樹脂: PS)



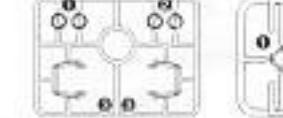
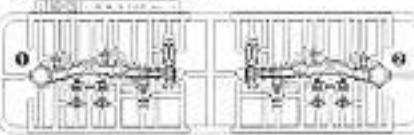
H1/バーツ (スチロール樹脂: PS) (スチロール樹脂: PS)



H2/バーツ (スチロール樹脂: PS)



K/バーツ (スチロール樹脂: PS)

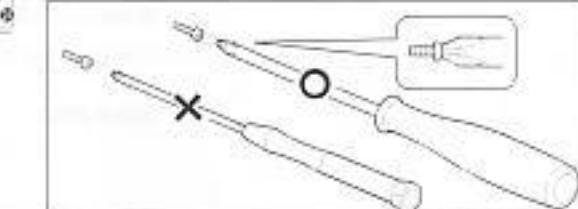
J/バーツ (ABS樹脂: ABS)
(ポリプロピレン: PP)

お買い上げのお客様へ

部品をこわしたり、なくした時は「部品注文カード」に必要な部品の記号/番号/数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定期小荷物をお買い求めいただき、封書(裏面に必ず、お客様のお名前、年齢、ご住所を明記してください。)にて下記までお申し込みください。代金は、部品代(1個40円×個数)+郵送料(120円)です。為替証書は無記入(白紙)で同封してください。なお、部品の形状・重量で郵送料に追加が生じるときがあります。部品発送の際に120円を超える時は不足分を請求。120円以下の時には残額をお返しいたします。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。

■申し込み先 (株)バンダイ静岡相談センター

〒424-8735 静岡県清水市西久保305 TEL0543-65-5315



For Japanese use only.

部品注文カード 0113554-3000

1/100SCALE MGシリーズ
RX-78/C.A. キャスバル専用ガンダム

必要な部品の記号・番号・数量をかく

●注文された理由○で選択(これしたなくした)

日中ご連絡可能な電話番号

(- - -)

'02.8

RX-78/C.A GUNDAM

Parts Name

Parts List

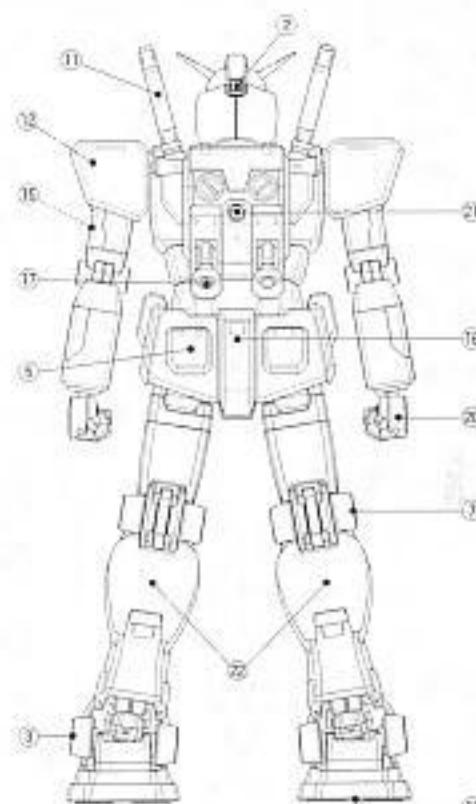
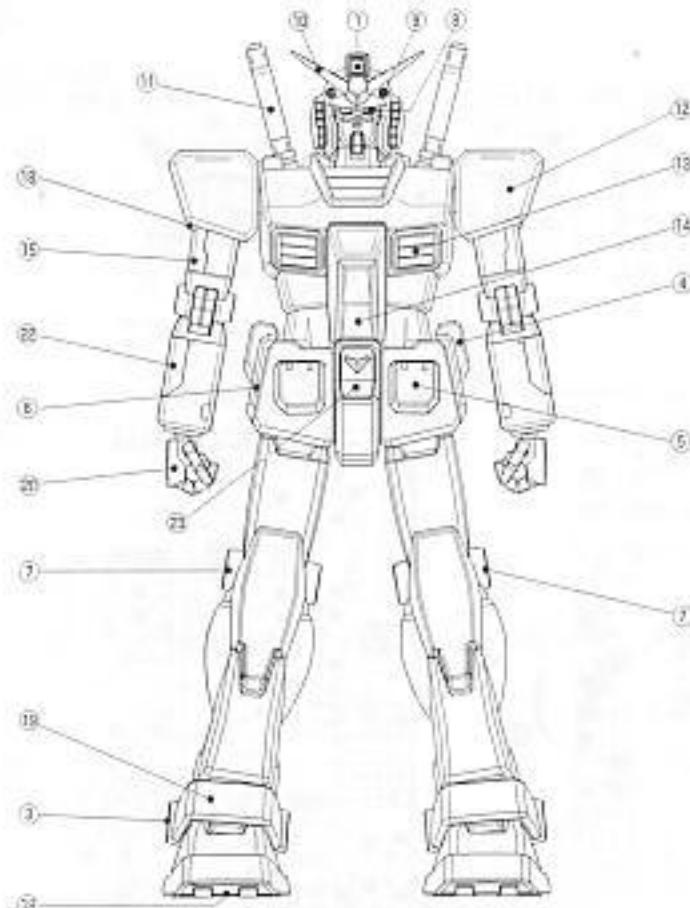
COCKPIT

Head

Arm Unit

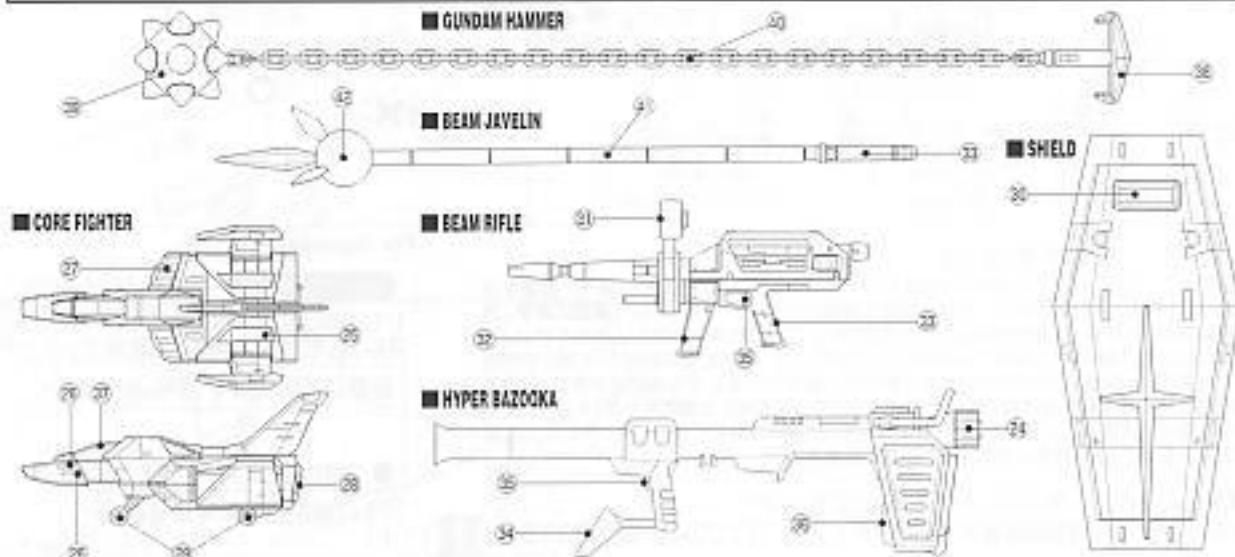
Leg & Weapons

Final Assembly



- | | | | | |
|--------------------|---------------|-----------------|----------------|------------|
| ① メインカメラ | ⑫ マルチブレードアンテナ | ⑯ アンクルサポートユニット | ㉔ ケット/ジェットノズル | ㉖ コクピット |
| ② リアカメラ/センサー | ⑬ ビーム・サーベル | ㉐ マニピュレーター | ㉕ ランディングギア | ㉗ ハンドル |
| ③ アンクルジョイントアーマー | ㉑ ショルダーアーマー | ㉑ シールドマウント | ㉘ 直視型ウインドゥ | ㉙ ハンマー・ヘッド |
| ④ サブスタンスコントロールシステム | ㉒ ダクト/スラスター | ㉒ クローキングサフスラスター | ㉚ サイトスコープ | ㉛ チェーンワイヤー |
| ⑤ サブドライブシステム | ㉓ コクピットハッチ | ㉓ ペンチレートボックス | ㉜ フォールディンググリップ | ㉝ シャフト |
| ⑥ サイドアーマー | ㉔ メンテナンスハッチ | ㉔ ダクト | ㉟ グリップ | ㉞ ビームヘッド |
| ⑦ ニージョイントアーマー | ㉕ マウントラッチ | ㉕ ミサイルハッチ | ㉟ マスバランサー | |
| ⑧ テュアルセンサー | ㉖ メインスラスター | ㉖ 30mmバルカン | ㉟ トリガー | |
| ⑨ 60mmバルカン | ㉗ サブスラスター | ㉗ エアインテーク | ㉟ マガジン | |

注) この機体は、諜報活動で得られたRXモビルスーツのデータや、虚構（ろかく）したGM等を積極的に運用、解析することで得られた膨大なノウハウの蓄積によって建造が可能となったもので、加速するMSの進化の軌となつ傑作機である。“ジオン共和国”の建国者ジオン・ズム・ダイクンの娘子、キャスバル・レム・ダイクンを総帥とする“ネオ・ジオン”的フラッグシップ機となった。



△ 注意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。(鋭い部品がありますので、安全上15才未溝には適しません)
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れなさいください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭から被ったり、頭を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

※このキットの組み立てには+(プラス)ドライバーを使いますので別にご用意ください。

組み立てる時の注意

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。



・接着をするところの細



・シールの端



・テープの端



・反対側に取り付ける



・裏面に同じハーフを



・向きには進して



・ビス穴開けするには注意



・切り取るところ



・端面を数箇の個数



・丸に組み立てる手



・後に組み立てます



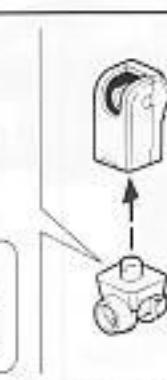
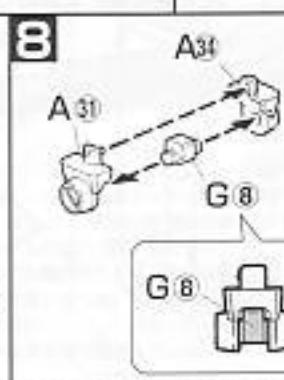
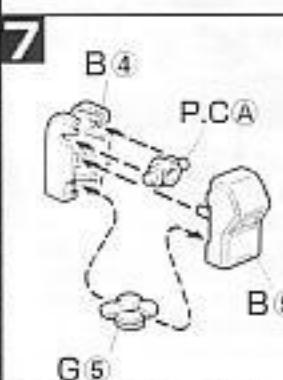
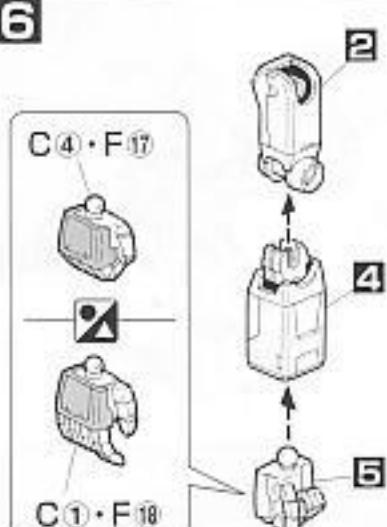
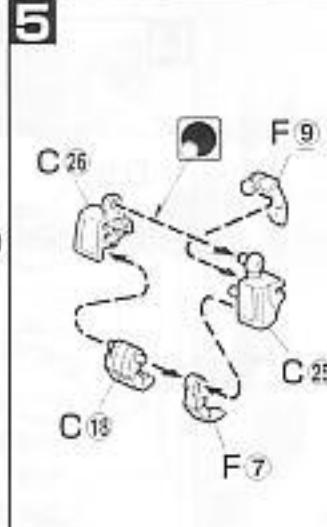
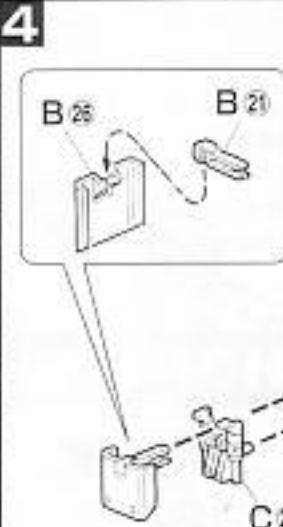
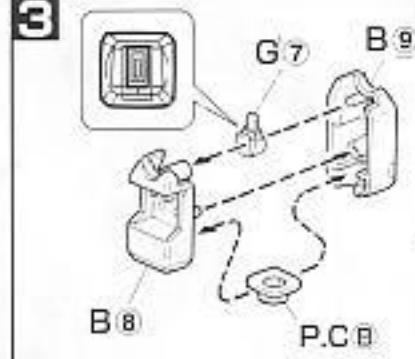
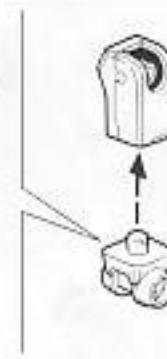
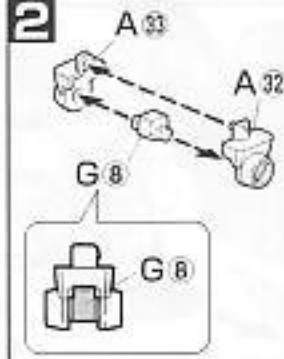
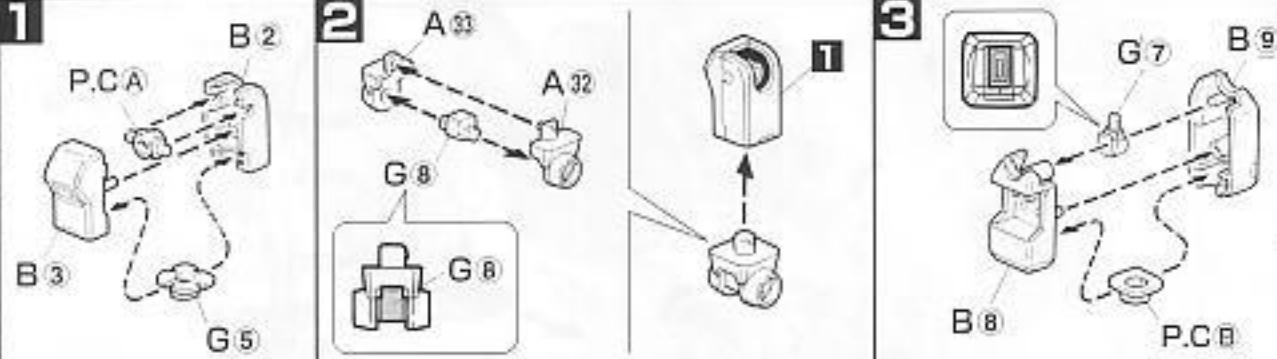
・端面に合わせて



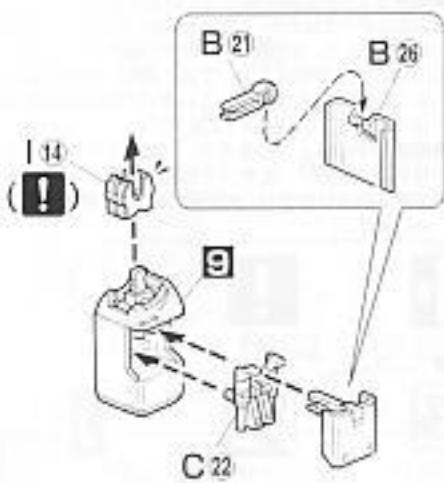
・どちらかを選んで



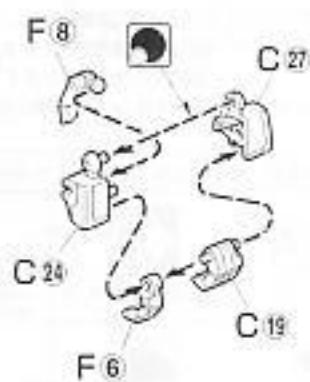
・反対側も同じように



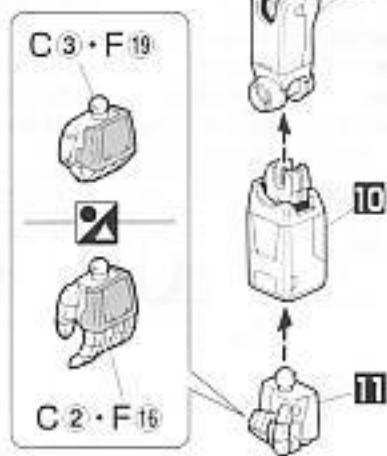
10



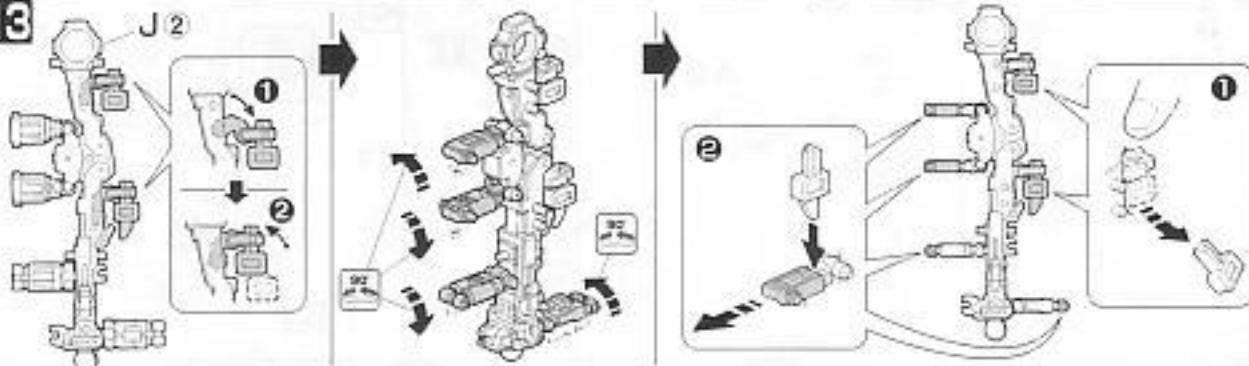
11



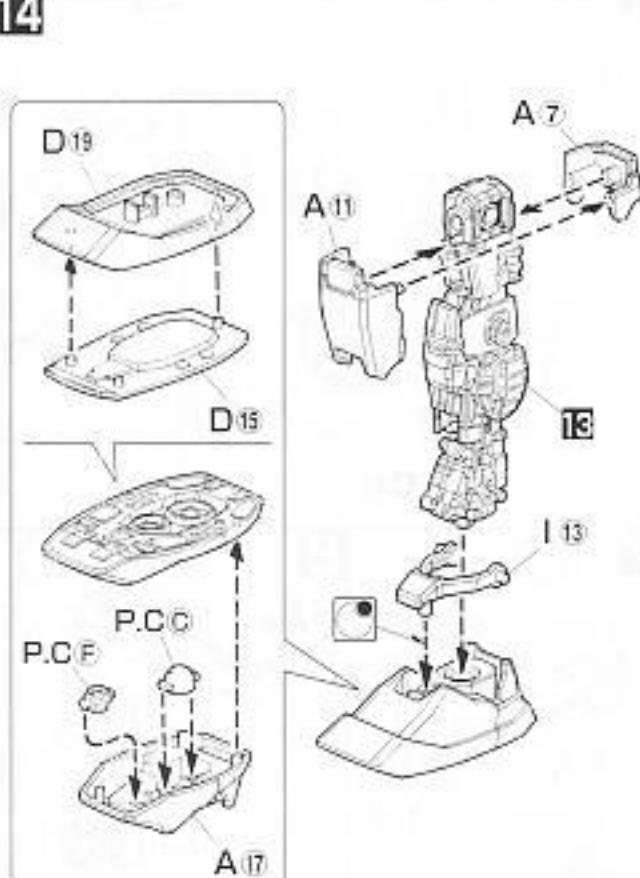
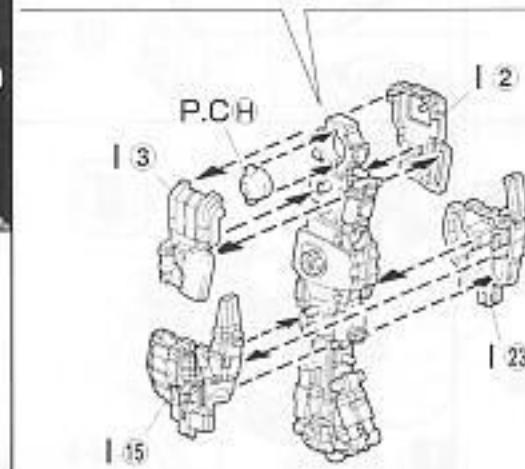
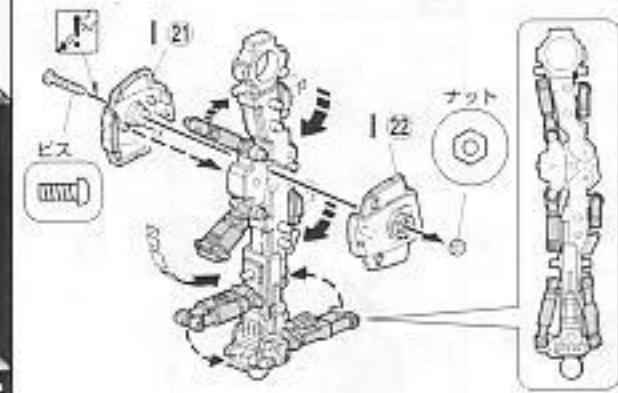
12



13



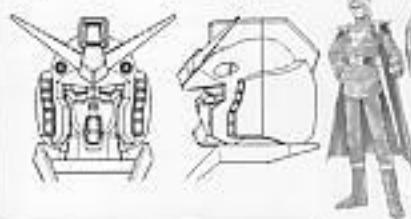
14



HEAD UNIT

HU-078Z-CA S-78001

キャスバル専用ガンダムの頭部には、頭頂部のメインカメラ部と一対のデュアルカメラ、そして2門の60mmバルカンなどが内装されている。ただし、メインカメラにはモノアイ用のデバイスが流用されている。



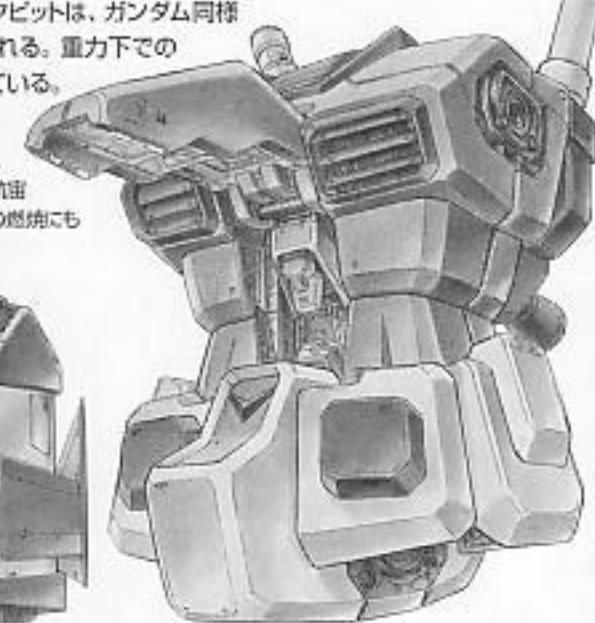
RX-78の頭部は、センサー類の集合体である。連邦系MSの内装を再現すべく、光学的な走査端末や各種計測装置は仕様を変更して組み込まれている。“目”的部位もデュアルカメラとし、視覚による計測も可能としている。メインコンピューターはコア・ファイターに搭載し、頭部ユニットには副次的なコ・プロセッサー・フレームに代えてサイコミュディバイスが搭載されている。教育型コンピューターそのものの完璧な複製は不可能だったものの、容量や処理速度が同等のグラモニカ社製デバイスでメインフレームが構成され、“駆逐経験”的蓄積はガンダムに匹敵するレベルで達成している。他に、カノム精機の光学装置やフェリペ社のセンサーなどを組み合わせ、無段方位アンテナや通信、音響システムを構成している。また、頭部バルカン砲は、より強力な90mmに改修する案もあったが、装弾数の改善や調達などに目途が立つことから、原機と同等の口径、仕様とされることになった。

COCKPIT

キャスバル専用ガンダムのコクピットは、ガンダム同様コア・ファイターのものが転用される。重力下での空中換装が可能かどうかは不明だが、スペックは充分達成されている。

エネルギー出力はガンダムを若干上回る程度のようだ。

キャスバル専用ガンダムのコア・ファイターに搭載されるメインジェネレーターは、MS-Y公社とツイマッド社が共同開発したMYFG-M-JR55/D2型で、前空/航宙用の熱核ジェット/ロケットエンジンとしても機能する。無論、メインラスターの燃焼にも不可欠な装置である。ビーム・サーベルへのエネルギー供給などにも使われる。数基のコ・ジェネレーターは、MS-14などに供給されていたものの中の改修型融合炉である。当初この組み合わせは不安もあったが、各融合炉のシンクロドライブを可能とするコンダクタが開発されたことで、総合出力は原機のガンダムをも上回る。腰部にはマウントランチ、サブジェネレーターに備え、大気圏突入時に使用する耐熱フィルターおよび機体冷却用噴霧ユニットなどが内蔵され、腰部可動のためのターレット構造を取り巻くように配置されている構造はガンダムと同様である。ちなみに、解析されたルナ・チタニウム合金の相成を“ガンダリウム”と呼ぶよう提言があったと言わわれているが、詳細は不明である。



ARM UNIT

AU-078Z-CA S-7802

MSの四肢を構成するアクチュエーターは、公国と連邦では全く異なる原理と構造を持っている。ところがキャスバル専用ガンダムは、その根本的な問題を解決し、原機をも上回るレスポンスを獲得している。

ガンダムの各箇所に採用される駆動装置は、フィールドモーターと呼ばれる新開発のアクチュエーターシステムである。これは、ミノフスキーパーティクル物理学の応用で可能となった技術で、フィールドとミノフスキーパーティクルの相互作用によって、スケールを超えた大出力のトルク発生を可能とする。このフィールドモーターは、公国系のパルスモーターに比較して制御系と駆動系の取り回しなどの確実性が高く、各ユニットのブロック化もあって、それらは運用上のフェイルセーフとして機能していた。ただし、その分ユニットそのものは構造的にデリケートなきらいがあり、損傷した部位は、基本的にそのユニットごと交換するのが前提とされていた。公国軍の技術開発陣は、フィールドモーターの開発と、流体パルスモーターの小型化を並行して行った。また、連邦系企業への資金援助などを積極的に行い、第三者経由による技術取得などを積極的に行なったのである。キャスバル専用ガンダムは、基本

的にはガンダムの構造に沿ってはいるものの、構造に応じて双方を巧妙に使い分けることで、更高的な機能向上を計っている。また、このことによつて、キャスバル専用ガンダムのエネルギー経路は複数存在することになる。ガンダムの武装は基本的に連邦軍の規格に則って開発されているが、キャスバル専用ガンダムは、公国系の武装も使用可能なよう、エネルギー供給の規格やターミナルの構造に細かに設計されており、どちらの武装でも基本的な構造には支障が出ないように配慮されている。



THE OTHER SIDE OF THE MOON

U.C.0080年。地球の支配権を巡る戦争は依然として続いている。公国軍と連邦軍は、互いに消耗しながらも、戦争を繼續させていた。そんななか、ギレンの独裁にも連邦の絶対民主主義にも与しない努力が実現しつつあった。それは、ジオン・ズム・ダイクンの理想に傾倒するもの、あるいは戦闘の体制に不安を抱くものなど様々でありながら、本を同じくして未来を切り開こうとする意図そのものでもあった。キャスバル・レム・ダイクン、彼は、赤い彗星のシャアとして現れた公国軍のMSパイロットであり、連邦者ジオンの嫡子でもあった。彼ならば、この不毛な戦争を終らせてくれるかもしれない。そんな期待を抱かせる何とかが、確かに彼にはあった。キャスバルはとり急ぎ、あるいは周囲の手筋を整えた上で、グラナダを爆弾としてネオ・ジオンを打ち立てた。彼の決意を後押ししたのは、ザビ家に対する私怨でも、特攻隊に奮闘する臣下もなく、強度も彼の前に立ちはだかった白いMSが、その姿を赤く変え、自らのものとなつたからではなかったか……。



THE CARDINAL GUNDAM

ジオン公国の枢帥ギレン・ザビは、父ジオンの理想を継承し、自らの独裁に賛するためだけにジオンの名を継ぐ寡馴（さんだつ）者である。ザビ第一党は宇宙統治者の理想を踏みにじる以前をして国民を振興し、人類全体の健全な未来を育むとしている。しかし、連邦の標榜する絶対民主主義もまた病弱の温床であり、連邦政府を構成する為政者も官僚も、未だに地上から宇宙を見上げて支配できると考える鮮透力者であり、宇宙にまで膨大した人類全体を統治する魔術の一觸を知り得る者など地蔵も持たない。ジオンの理想の真の継承者としてキャスバルの主張は明確であった。彼は着実に勢力を拡大し、支持者を、賛同者を、共に囲う同志を集めていった。一時は、父が夢見た未来を見るため、ザビ家の権勢を利用しようかと考えたこともあったが、やはりザビ家は許さないと悟った現在は、ただ前に進むのみであった。その先陣を擧る機体こそ、かつては最大の敵であったガンダムであった。新しきジオンの樹の下に、再び赤い彗星が出現する。



GUNDAM THE RED COMET

グラナダを bazooka として搭載したネオ・ジオンに対し、ギレンは驚異的な対応を見せた。連邦軍もまた、素早いためフォン・ブラウンの火力を壊滅し、事態の推移を見守っている。キャスバルは、削除した肉厚の障を突き、ニューダイプ部隊を前面に押したて、自らその先陣を切って精神のこよき戦闘を繰り広げる。そして、徐々にではあるものの、確実に戦闘を引き取っていた。ネオ・ジオンの地図は着実に進展していた。しかし、キャスバルは渴望していた。真に同志と呼べる仲間の存在を、キャスバルは渴望していた。本当に立ちはだかったライバルは今はない。ホワイトベース艦隊の存在をこそ、彼は求めていたのである。かくして、キャスバルは大きな勝負に出た。万一失敗すれば、グラナダが連邦軍に射撃されるかもしれない。しかし、そのリスクを犯しても、皆みる価値はある。キャスバルは、すべてのニュータイプに対し、ネオ・ジオンへの参戦を呼びかけたのだ！かくして、ネオ・ジオンに、キャスバルに、最大の歓喜が訪れる!!



WEAPONS



▲ プラチーン素材を使用したガンダムハンマー、ビーム・ジャベリンを加え、豊富な各武装をフルセット。

PAINTING

よりリアルに仕上げたいかたは、下の基本色をご覧ください。
塗装には、より安全な「水性油性」のご使用をおすすめします。
このキットをよりリアルに追加したい方は、(株)OOIクレオスより発売のガンダムカラーラッカーや
ガラス漆喰をお使いください。

- 本体などピンクの塗装色。
ピンク(50%) + シャインレッド(30%) + イエロー(20%)
またはガンダムカラー ピンク
- 頭部などブラウンの塗装色。
レッドブラウン(80%) + マホガニー(20%)
またはガンダムカラー レッドB
- ダクトなどダークブラウンの塗装色。
マホガニー(80%) + ブラック(20%)
またはガンダムカラー ブラウン
- フレーム両膝部の塗装色。
黒色(2)(80%) + ブラック(20%)
- 手などの塗装色。
イエロー(90%) + オレンジイエロー(10%)

FRONT VIEW



REAR VIEW



コア・ファイターは変形可能なタイプに
加え、コア・ブロックもセット。両方とも
本体内部へ収納可能。



可動式の脚部ルーバーや、
頭部アンテナは、シャープな精密感を追求。コクピット、パイロットも再現。

脚内部メカにシリンドラを一体成形した特殊バーツを使用。ギミックと精密感を追求。

Parts Name

Parts List

COCKPIT

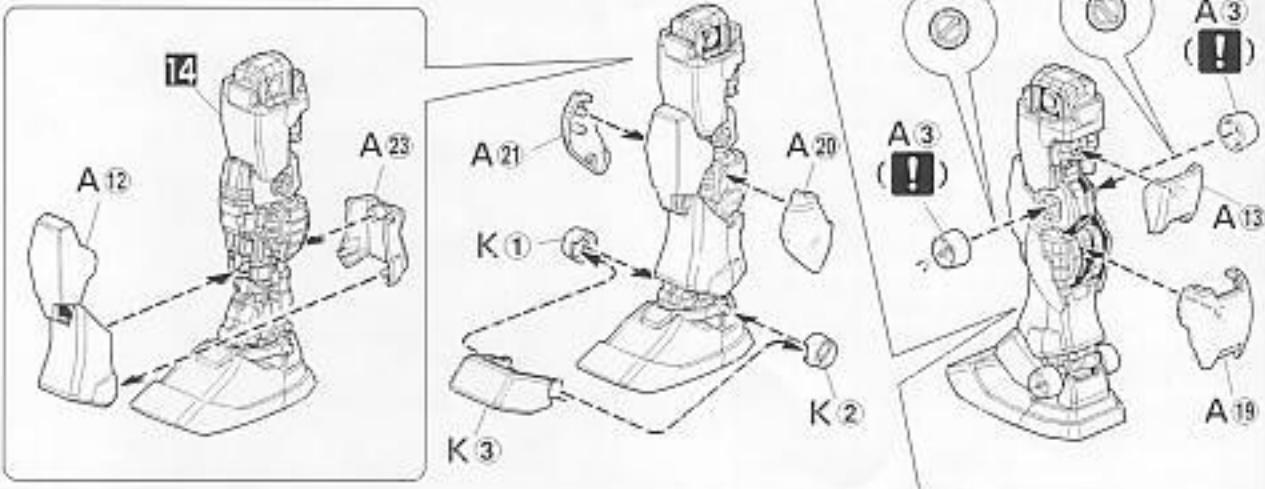
Head

Arm Unit

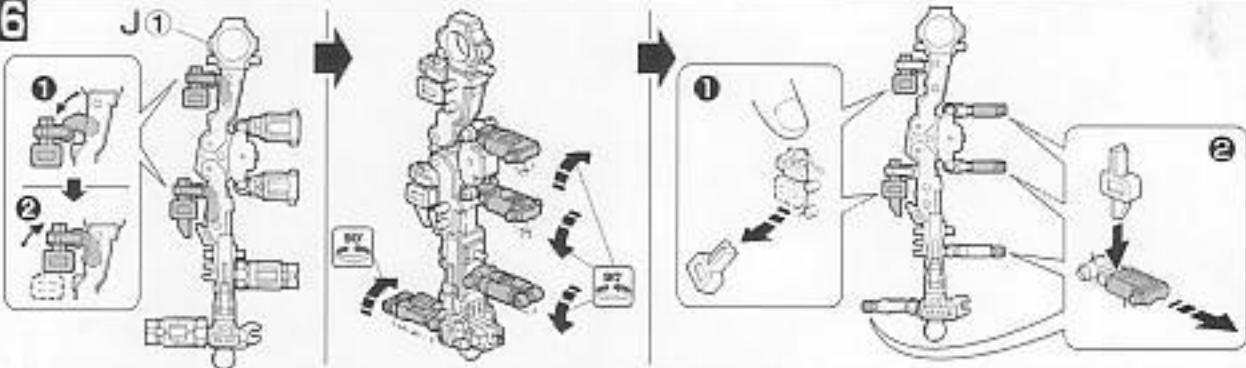
Leg & Weapons

Final Assemble

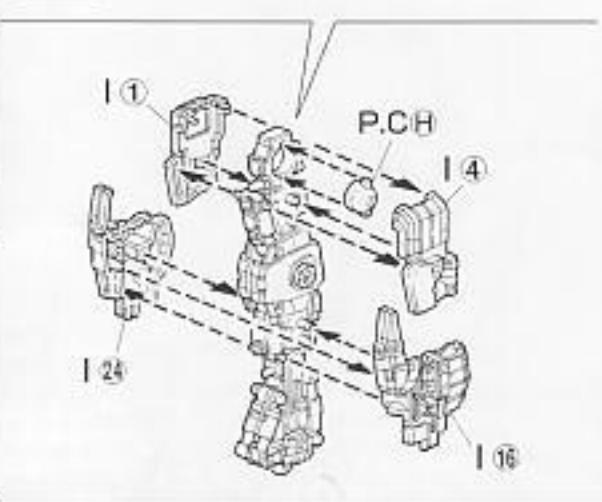
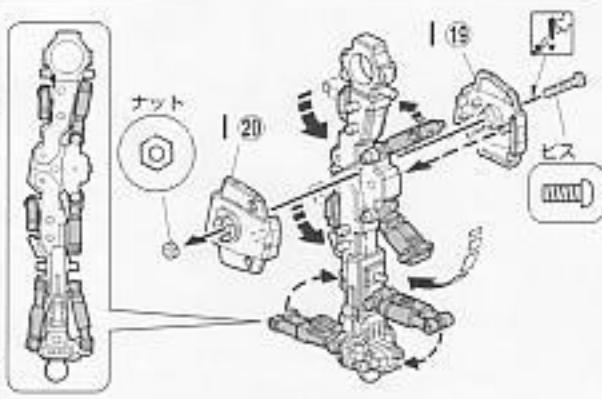
15



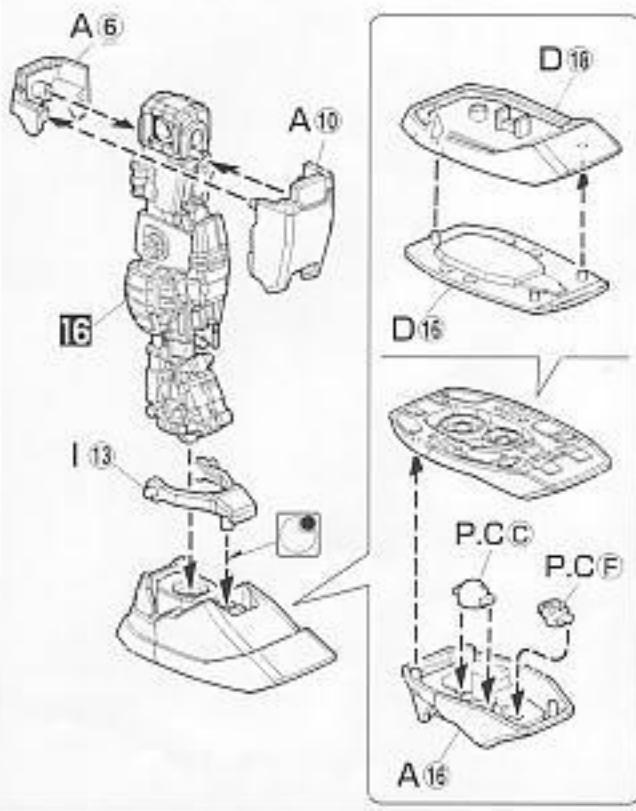
16



17



18

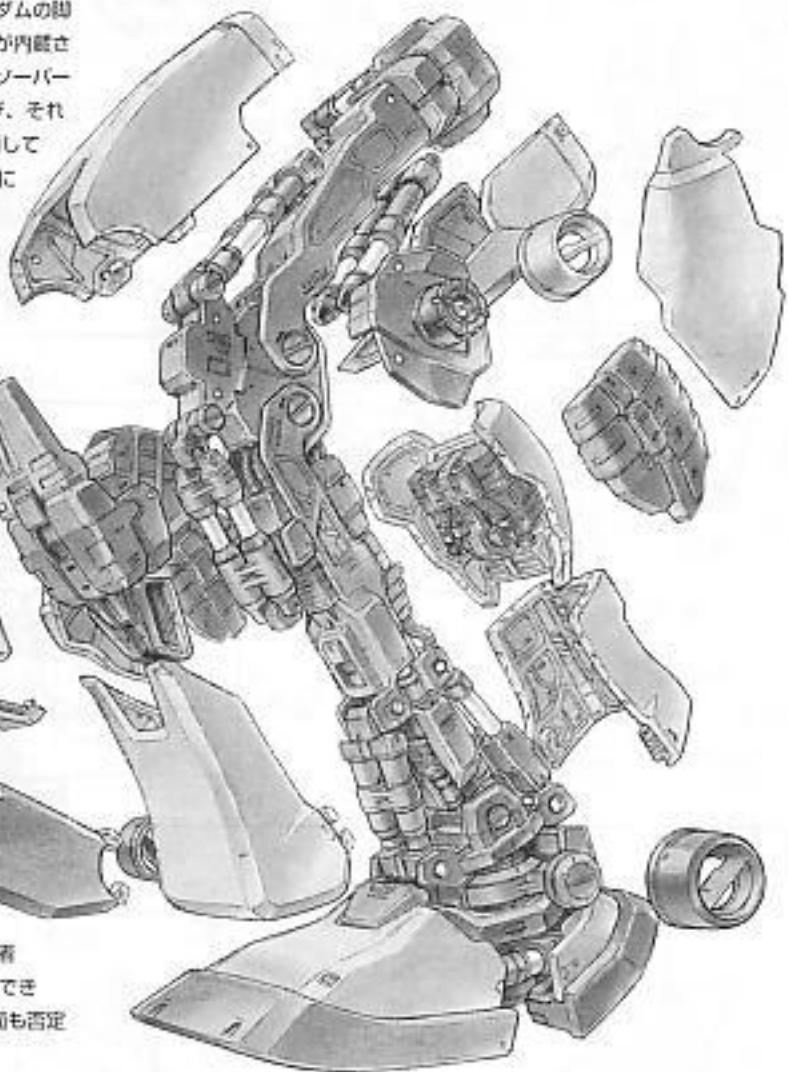


LEG UNIT LU-078ZCA S-7801

MSの脚部は、その機動性の多くを担う非常に重要なパートである。重力下での機動性、無重量空間での姿勢制御など、キャスバル専用ガンダムは、その双方を高いレベルで達成させている。

ガンダムの構造に付い、キャスバル専用ガンダムの脚部にも駆動用の独立した超小型ジェネレーターが内蔵されており、姿勢制御用バーニアやショックアブソーバーのほか、各種センサーやコントローラーおよび、それらを独立／統合制御するコンピューターも装備している。のみならず、駆動やバーニア自体の駆動にはサイコミュディバイスが採用されている。とは言え、この時期のサイコミュは、もっぱら連絡誘導や知覚の拡大などに使われていたため、いわゆる機体制御そのものに必要なスペックを達成するためには、更なる技術発展を行ななければならなかつた。

それでも四肢のレスポンスは目に見えて改善され、将来的にMSが備えるであろう機能の一端を垣間見ることができる。また、MSのような巨大な人型兵器に2歩歩行を行わせるため、その構造からOSに至るまでを独自に開発した公団系の技術者にとって、設計思想が異なるため、ほとんど独自開発と同様だったと言われるガンダムの“歩行メカニズム”を解析することは非常に有益であり、実際、度重なる整備やオーバーホールにおいて施された連邦系技術者の“設計や運用における思想”を目の当たりにできただことが、双方の技術融合を促進したという側面も否定できないだろう。



WEAPONS

キャスバル専用ガンダムは、ただ漫然と複製された訳ではない。特にビーム兵器の小型化、高出力化技術の後れを取り戻すため、ある意味で“ガンダム”と専用武装の完璧な複製は、是が非でも達成すべき命題だったのである。



Beam Rifle

当時の射程を上回る破壊力をを持つビーム兵器、エネルギーCAP技術によって供給が可能となった武器で、MSという兵器の有効性や戦闘能力を大幅に変革した画期的な武器。ガンダムの強さの秘訣はルナ・チタニウム合金製の装甲とこの武装によるものだと言われておらず、公団軍はガルググの開発に前後してようやく実用化が可能となつた。キャスバル専用ガンダムは、連邦系技術の再現そのものを目的としていた開発もあったため、連邦軍の規格に準じたコンデンサーや集束装置を装備している。

Parts Name

Parts List

COCKPIT

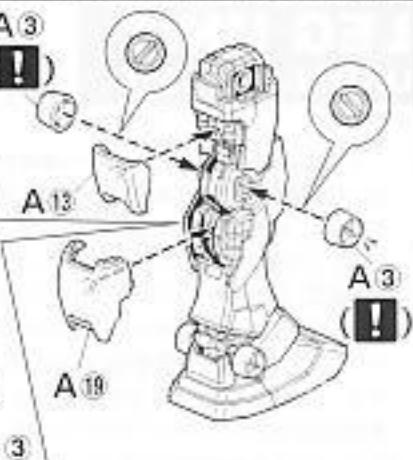
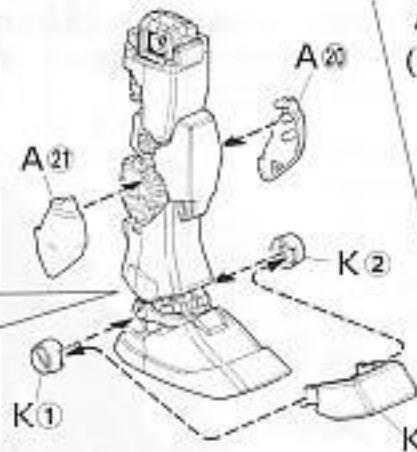
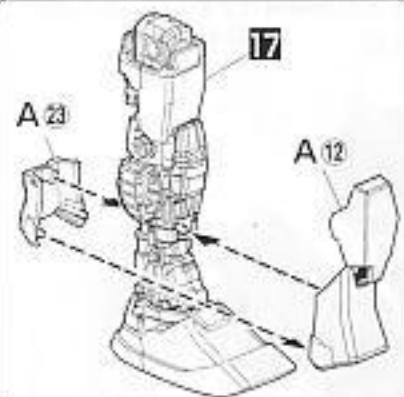
Head

Arm Unit

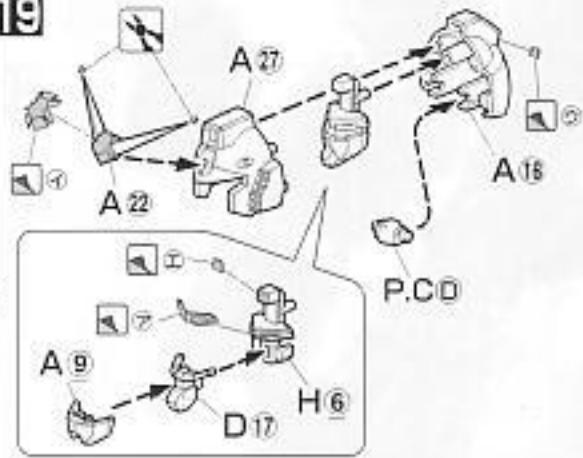
Leg & Weapons

Final Assembly

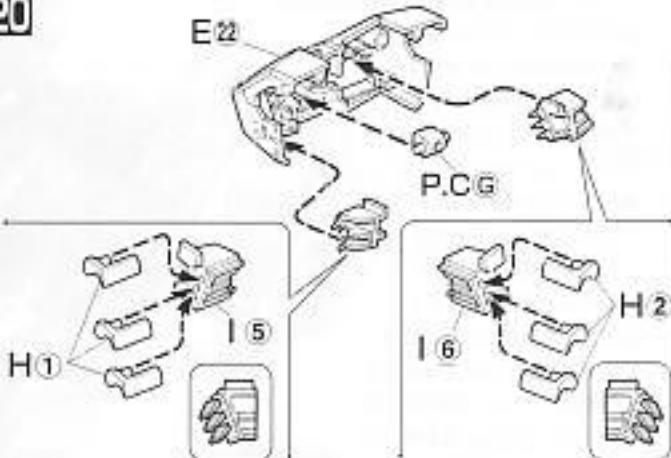
18



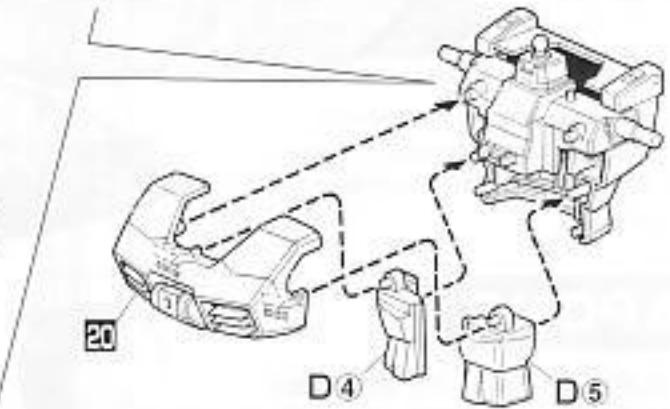
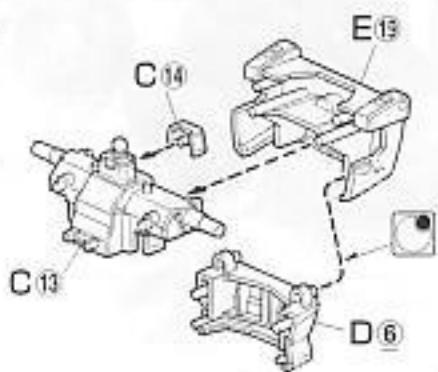
19



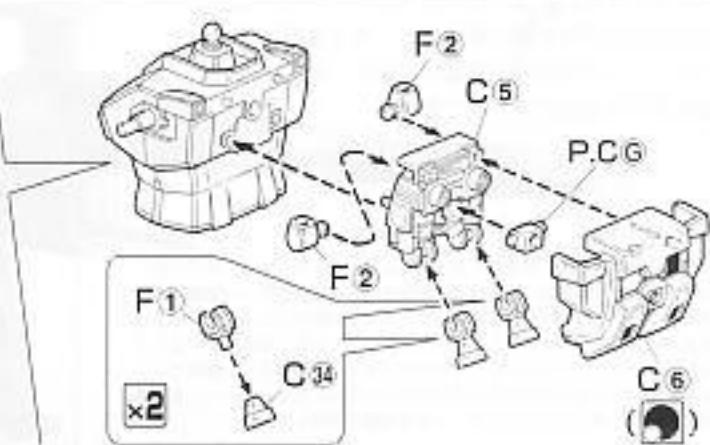
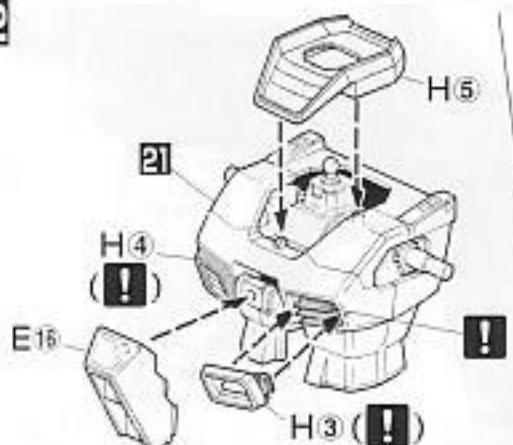
20



21



22



Parts Name

Parts List

COCKPIT

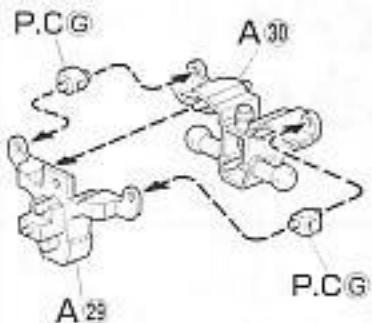
Head

Arm Unit

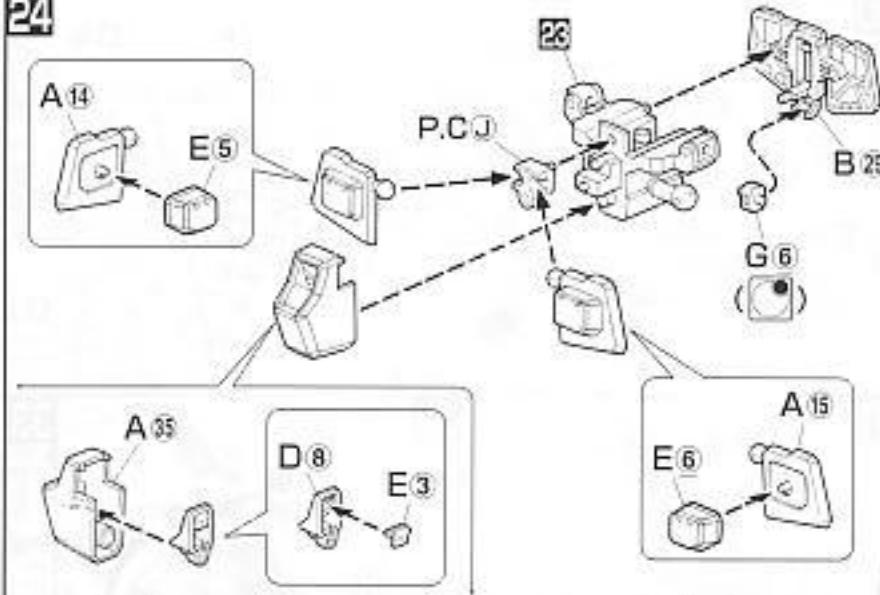
Leg & Weapons

Final Assembly

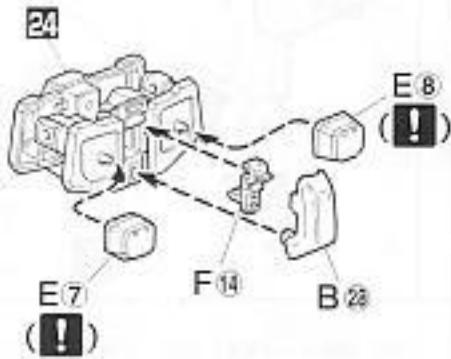
23



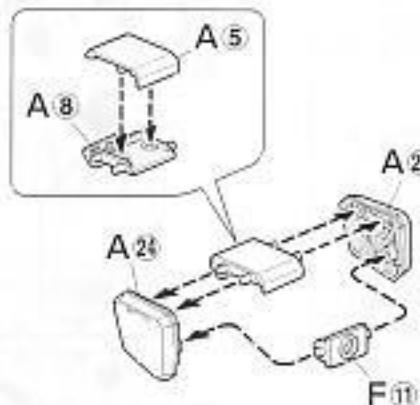
24



25



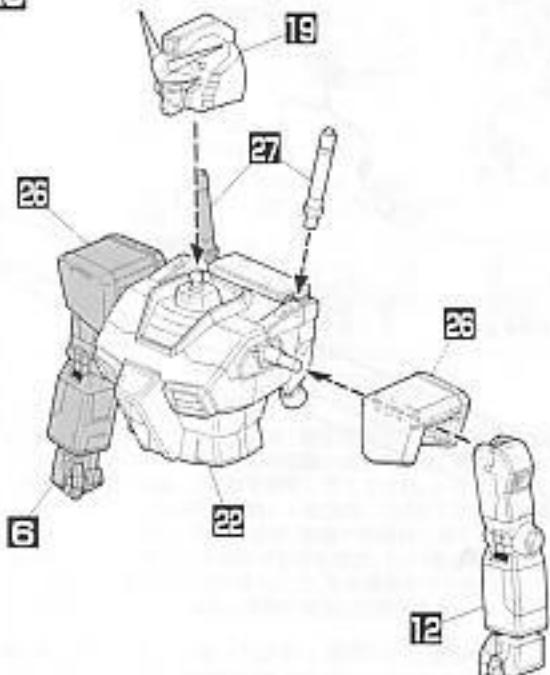
26 x2



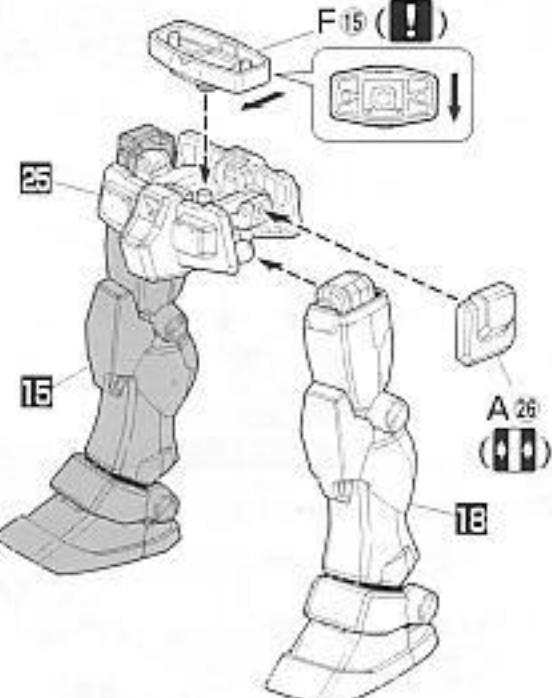
27 x2

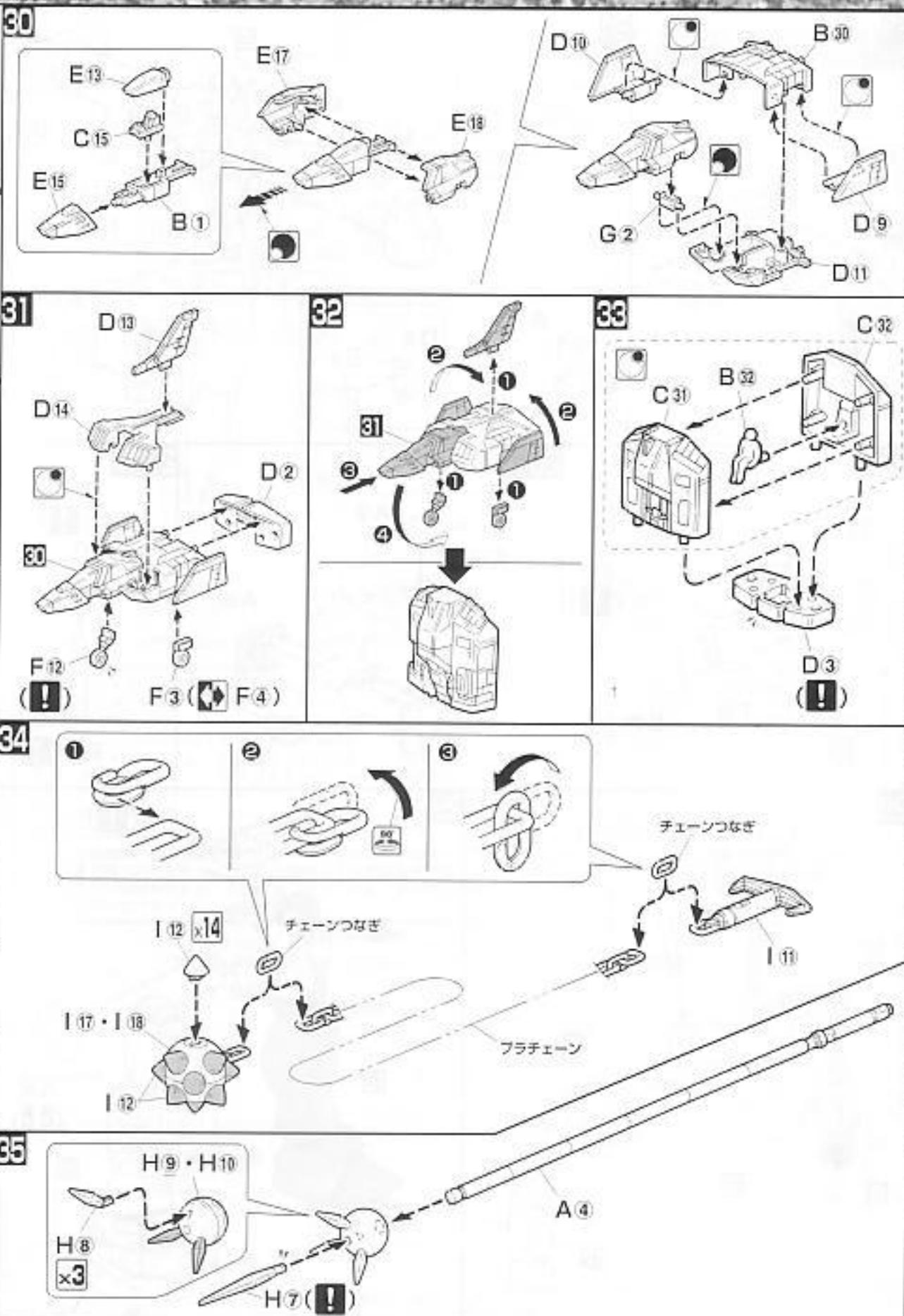


28

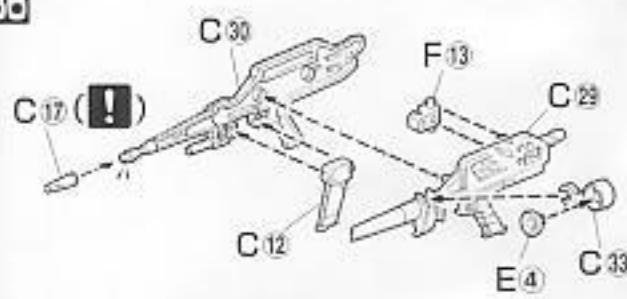


29

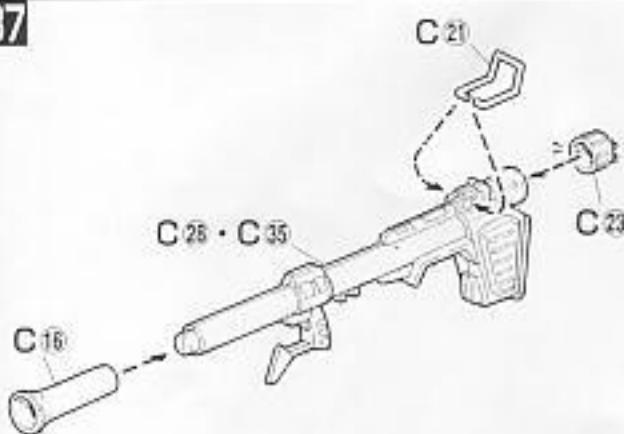




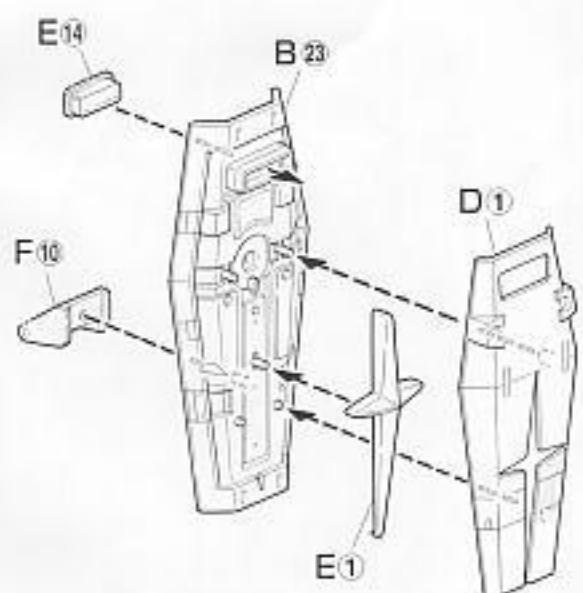
36



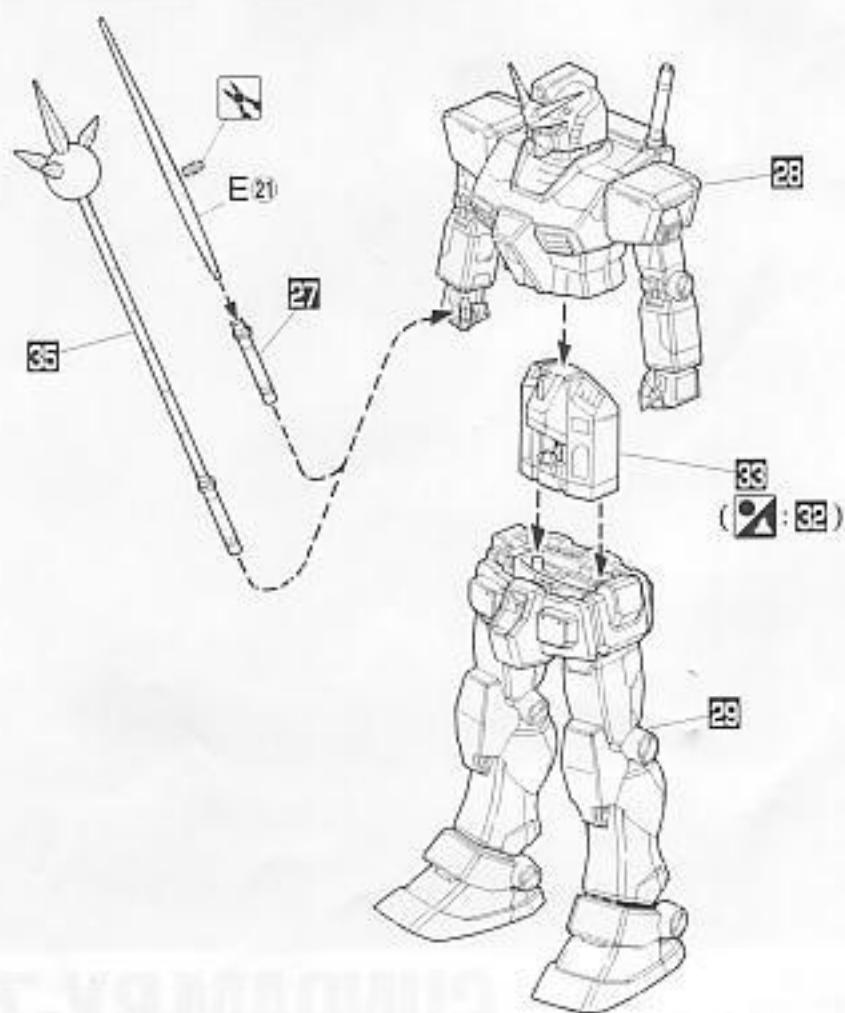
37



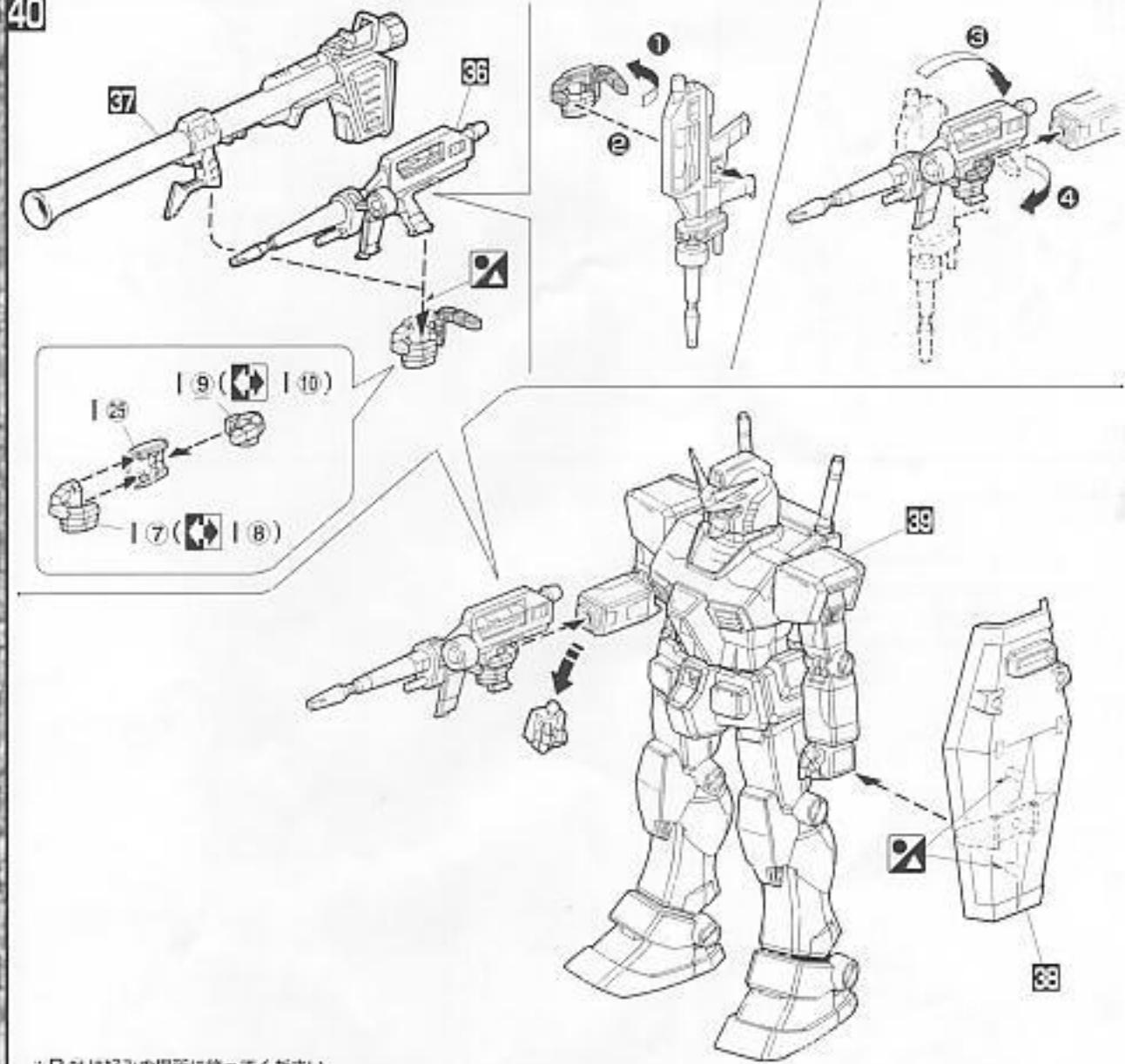
38



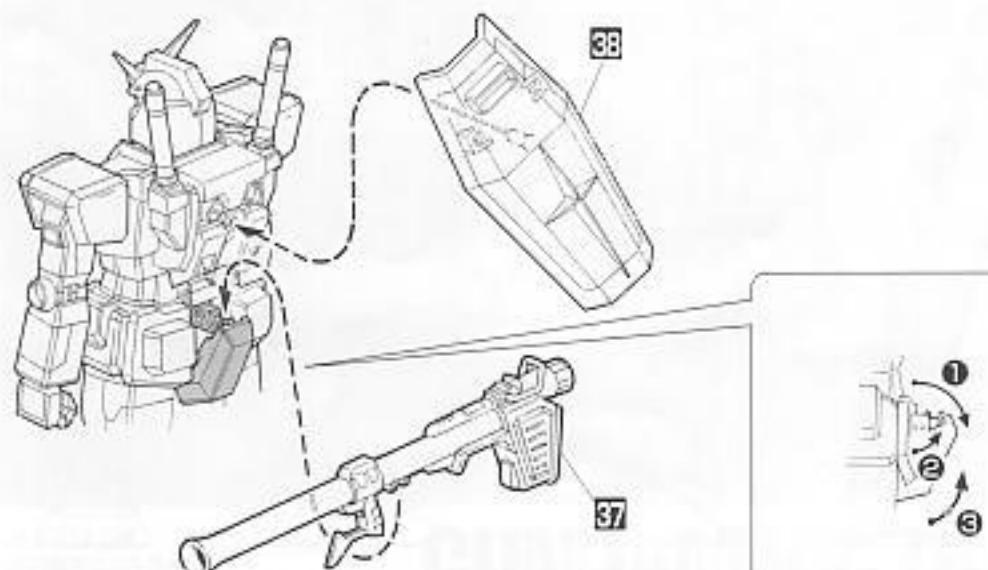
39



40



※B-31は好みの場所に貼ってください。



41



①



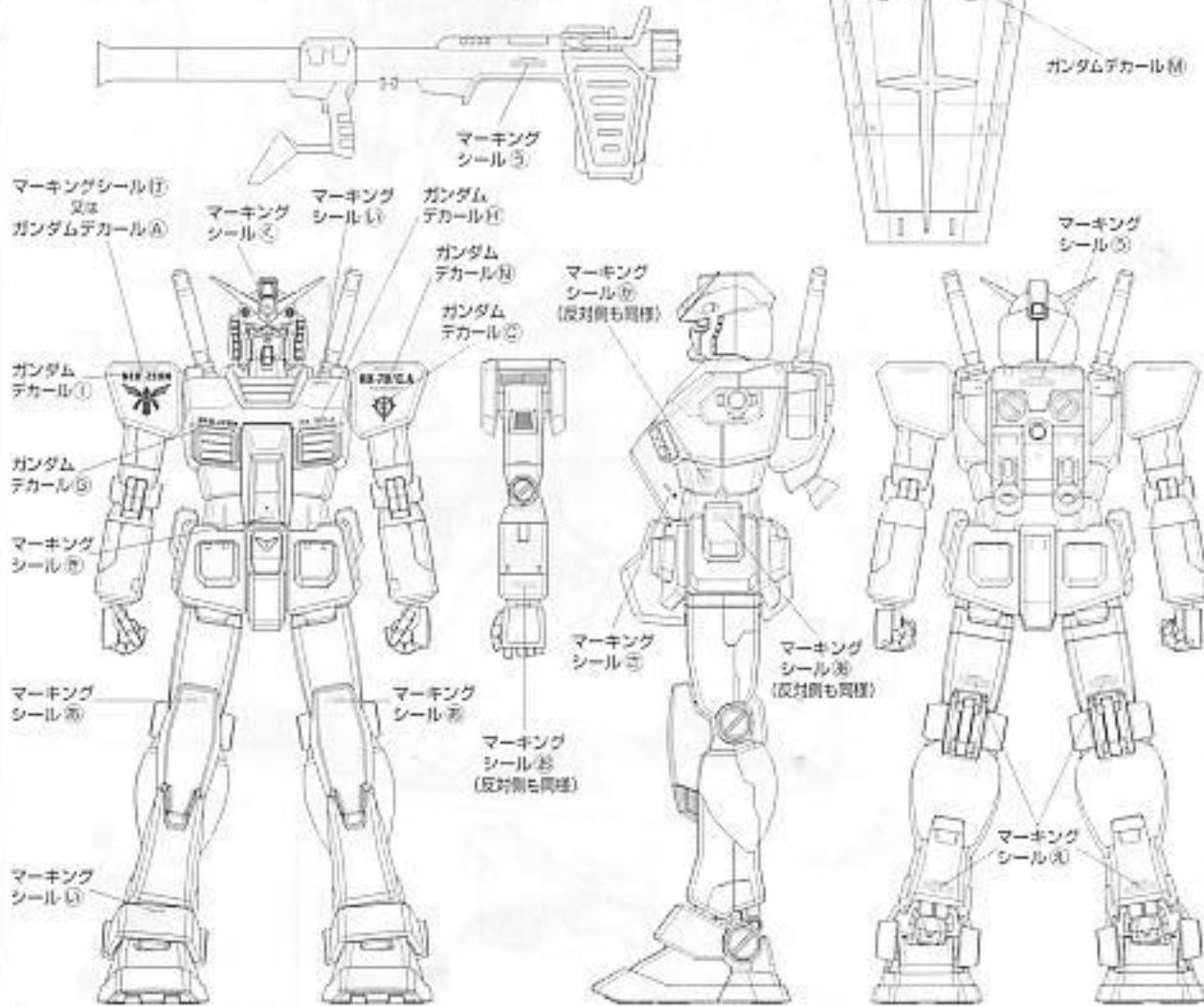
②

**Seal**

<シール> 下の図を見て、ガンダムデカールやシールのはる位置を確認してください。

ガンダムデカールのはりかた。

- 1.転写するマークを大きめに切ります。
- 2.転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
- 3.シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすります。



※貼ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所にはってください。



ネオ・ジオン軍
白兵戦用モビルスーツ
RX-78/C.A 「キャスバル専用ガンダム」
1/100スケール
マスターグレードモデル (Ver. A.N.I.M.E.)

GUNDAM RX-78/C.A
NEO ZEON CASVAL'S CUSTOMIZE MOBILE SUIT

Scanned by Dalong.net